

第498回 IBC番組審議会

1. 開催 日時 平成17年4月21日(木)

2. 開催 場所 IBC放送会館 大会議室

3. 委員の出席 委員 総数 14名

出席委員数 12名

出席委員の氏名

委員長 石川 桂司

副委員長 藤原 正紀

委員 阿部 价男 小苺米葉子 小松 務
坂田 裕一 佐藤潤次郎 中原 志郎
米谷 春夫 宮澤 徳雄 矢佐 俊幸
山崎 文子

欠席委員の氏名 熊谷志衣子 吉沢 正則

会社側出席者

小西 隆昭 代表取締役社長

阿部 正樹 代表取締役専務

佐藤 敏行 常務取締役

川島 敬司 常務取締役編成局長

井上 隆志 取締役技術局長

柴田 継家 報道制作局長

中島 勝志 報道部長

事務局

金谷 保彦 番組審議会事務局長

小笠原 勉 番組審議会事務局次長

4. 議題 『IBCニュースエコー』

5．議事の概要

<委員の主な発言>

- ・各地の話題を取り上げており、内容も豊富でテンポもいい。
- ・キャスターは好感が持てるコンビだ。気象キャスターの二人もフレッシュで歯切れがいい。
- ・夕方のラジオで、その日のニュースエコーの内容を紹介しているのは、効果的だと思う。
- ・それぞれがニュースを読むだけではなく、感想などを含めてキャスター同士のやりとりが多くあった方が、雰囲気がいいのではないかな。
- ・防災に関して取り上げていたが、いつか起きる大地震に備えて、県民の啓発意識が高まるようこれからも放送して欲しい。
- ・天気予報の処理の仕方がいい。映像がわかりやすい。逆に、冬にやっていたグレンデ情報は見にくかった。来年は工夫した方がいい。
- ・キャスター二人の、ハーモニーがまだ出てきていない。二人で作り出すニュースというより、お互いシングルプレイヤーのような意識が強いような気がする。それが硬さにつながっているのではないかな。

<社側>

- ・キャスターについては昨年、女子アナ三人でスタートさせました。この四月の改編にあたり、キャスターの印象度調査などの結果、男女のコンビの方が良いという意見が圧倒的に多く、単に前に戻すということではなく、それぞれの役割を明確化しようと、今回の起用になりました。
- ・浅見アナを記者クラブに所属させました。ただ単に、原稿を読むだけではなく、取材をとおして実際の現場を知った上で、伝えるキャスターにしていきたいと考えています。
- ・行政機関からの広報資料でも、その裏側に何があるのか、実際に現場に足を運んで報道することも必要だと考えています。
- ・市民の目線に立つことがニュースの基本だと考えています。その一つとして「140万人の堪忍袋」で、市民レベルで疑問なこと、おかしいと思うことを特集として放送しています。